

主任（監理）技術者の資格・工事経験

申請者名：

主任・監理の別		主任技術者　・　監理技術者		特例監理技術者の配置予定 有　／　無	
配置技術者の氏名・年齢		(　　才)			
最終学歴		(　　年卒業)			
法令による資格・免許		(　　) (　　) (　　)			
申請時における 他工事との兼務		他工事への配置　有　／　無			
		工事名称			
		工期			
		従事役職			
		本件工事と重複する場合の 対応措置		例) 本件工事に着手する前の　年　月　日に検査完了予定のため、本件工事に従事可能	
工事経験の条件					
工事 経験 の 概 要	工事名称				
	発注機関名				
	施工場所				
	契約金額		千円　(　　千円)		
	所属会社名		所在地		
	工期		年　月　日　～　年　月　日		
	受注形態等		単体　／　J V (出資比率　%)		
	従事役職		工事成績評定		点
工事 概 要	構造形式				
	規模・寸法				
	使用機材・数量				
	設計条件				

(注1) 現場代理人及び主任（監理）技術者若しくは監理技術者補佐は、それぞれこれを兼ねることができる。

(注2) 本工事に実際に従事することを前提に、配置予定者の氏名等を記載すること。

(注3) 提出時に配置予定者を特定できない場合には、複数の配置予定者を記載することができる。

(注4) 記載する配置予定者は、建設業法に規定する営業所の専任の技術者でないこと。

(注5) 主任（監理）技術者は、共通（特記）仕様書、入札公告及び入札説明書等に示す資格を有するものとする。

さらに、監理技術者にあつては、監理技術者資格者証を有し、監理技術者講習を修了した者とする。

(注6) 経験工事は、現在の勤務先での経験に限定しないものであること。

(注7) 共同企業体の構成員としての施工実績を記載する場合には、契約金額の欄には共同企業体の全体契約金額を記載し、()には、共同企業体で受注した場合の出資比率に基づく契約金額を記載すること。

(注8) 受注形態等の欄は、施工形態として単体又はJ Vのいずれかを○で囲むとともに、()には自社の出資比率を記載すること。